

エレクトロニクスものづくり体験教室（有明高専・佐賀大学共同開催）

平成 18 年 12 月 16 日（土曜）

平成 18 年(2006 年)12 月 19 日(火曜日) 有明新報

# ものづくり楽しむ

## 児童がライントレーサー製作

有明高専

エレクトロニクスものづくり体験教室が十六日、大牟田市東萩尾町の有明工業高等専門学校で開かれた。児童が学生たちのアドバイスを受けてライントレーサーを製作し、ものづくりを楽しんだ。

体験教室はエレクトロニクスものづくり実行委員会主催。理科離れを防ごうと、佐賀大学から始まった。十回目を迎えた。TV会議システムを利用して、同大学と有明高専で同時開催。両校の学生も参加した。

製作したライントレーサーは、色の濃淡を覚え線をとどめていくマシン。有明高専にはエネルギー・環境教育に取り組み、同市明治小学校から、参加を希望した児童十三人が訪れた。児童らは学生たちの指導を受けて、部品をはんだ付け。細かい作業にもチャレンジして、ライントレーサーの構造や仕組みを学びながらマシンを完成させた。

地元企業の協力なども受けて開かれている体験教室。有明高専電子情報工学科助手の石川洋平さ



はんだ付けに挑戦する児童

んは「地域と連携して大牟田地区も盛り上げてい

きたい」と話した。

(西田 豊)

## 自走ロボットを製作

エレクトロニクスものづくり実行委員会は、エレクトロニクスものづくり体験教室を有明高専と佐賀大学で



開いた。有明高専の会場には市内の小学生など約二十人と保護者が参加。高専生も佐賀大学の学生から、ロボット

の部品の「ほんなつけ」などを学び組み立てていた。

同教室は、五年前に、子どもたちの「理科離れ」を食い止めようと、佐賀大学で開催。大川市などで開催されてきた。今回は、同大から有明高専に石川洋平助手が赴任したため、大牟田地区で初めて有明高専で同大との共催で開催された。対象は小学校高学年、中学生。

教室では、佐賀大学、有明高専の両校で電子回路の研究をしている研究者、学生が色の濃淡を認識し自走するロボットの作り方を参加者に教えた。

参加した明治小学校四年

生の吉永大祐君は友達と作りかけのロボットを試走させたながら「ほんな」この使い方などが面白かった。算数理科は好きでしたが、もともと一生懸命勉強したいです」と話した。

石川助手は「大牟田では初めてだったので、子どもたちが集まってくれるか不安でしたが、予想より多く参加していただき、ありがとうございました。今後も開催し、地域に広がってほしい」と今後に期待している。

子どもたちを指導した有明高専電子情報工学科五年生の金子純美さん(二〇)、西原望さん(二〇)、古川勇志郎さん(二〇)は、初めての教える側だったので、得がたい経験になりました。子どもたちに教えることが楽しいことだと分かりました。この感動を後輩たちにも知ってもらいたいです」と満足感を味わっていた。

子どもたちが  
ロボット製作  
有明高専と佐賀大で  
ものづくり体験教室  
大牟田市の有明高専と  
佐賀市の佐賀大学の二会  
場で「エレクトロニクス  
ものづくり体験教室」実

行委員会主  
（進）がこの  
ほど、同時  
開催され、  
子どもたち  
が自走式ロ  
ボットを製  
作した写真  
真。

佐賀大で  
は、小・中  
学生九人が  
紙に書かれ  
たコースをセンサーでた  
どる車型ロボット（長  
さ十七センチ、幅十センチ）を製  
作。車輪とモーターを  
つなぐギアボックスや電  
子基板などを器用に作っ  
た。

有明高専の会場とは画  
像回線で結ばれ、互いに  
製作後の感想をスクリー  
ン上で述べ合った。

指導した佐賀大の深井  
澄夫助教授（電気電子工  
学科）は「子どもの理工  
系離れが指摘されるが、  
創造する喜びを体験して  
もらいたかった」と話し  
ていた。



石川洋平さん 有明工業  
高等専門学校電子情報工学  
科助手 有明高専でエレク  
トロニクスものづくり体験  
教室を開催しました。当日は、  
佐賀大学とも同時開催で、子



どもたちはテレビを通して  
交流を深めていました。たく  
さんの子どもたちに参加し  
ていただき、本当にありがと  
う。ありがとうございました。

## おもむいたサロン

う。ぶいしました。五年前に子  
どもたちの理科離れを食い  
止めようと佐賀大学で始ま  
ったのがきっかけで、大川市  
などでも開催しました。小学

生には「ばんだ」を使う  
ので少し難しいかもしれま  
せんが、みんなに楽しんでも  
らえたようです。今後は大牟

田地域でも活動を広げてい  
きたいと考えています。

### 金子 絢美さん (20)

有明高专電子情報工学科



—在学中一番の思い出は  
なりそうなのは  
今月、佐賀大学と併催た  
エレクトロニクスものづく  
り体験教室で子どもたちに  
教えたこと。

—教えた経験は  
子どもたちが、素直に目を  
輝かせて学んでくれたこと  
がうれしかったです。

—後輩に伝えたいですか  
とても感動したので次回  
参加してもらいたいです。



古川 勇志郎さん 有明高  
専電子情報工学科五年生  
十六日に、佐賀大学と有明高  
専が共催したエレクトロニ

クスものづくり体験教室で  
子どもたちにロボットの作  
り方を教えました。電子部品  
の固定を「はんだごて」を使  
うため、小学生にはちよつと  
難しい作業かなと感じまし  
たが、素直に私たちの指示を  
聞いてくれて、立派なロボッ  
トになりました。ロボットは  
路面の濃淡を識別し進む車  
のようなもの。いろんな部品  
を使えば進化していきます。  
独自のロボットを作ってく  
れたらうれしいですね。